



シャローム shalom

No. 122
2014.3

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。



バプテスト緩和ケア訪問看護ステーション

やすぎ
管理者 八杉 まゆみ
(前列中央)

2013年10月より在宅ホスピス緩和ケアクリニックより看護部門が、バプテスト緩和ケア訪問看護ステーションとして独立いたしました。緩和ケア訪問看護ステーションとしては、京都で2施設目になります。(1施設目は、緩和ケア訪問看護ステーション架け橋：京田辺市)

スタッフ構成員は、緩和ケア認定看護師3名、がん性疼痛看護認定看護師1名、ELNEC-J (エルネック・ジェイ) 教育プログラム修了者1名で、がん看護を基盤にエンド・オブ・ライフ・ケア (EOLケア) や緩和ケアを提供する在宅看護に取り組んでまいります。

医療・看護・介護ケアの原点には、ホスピスマインド (温かいおもてなしのこころ) があり、疾患への罹患

早期から積極的治療にあわせて全人的苦痛の緩和に病院・在宅のチームによって多面的に取り組むことが必要であると思います。

特に在宅・地域での緩和ケアは、その方の生活の質・生命の質が重視され、生き方・死に方を最大限尊重すると共に、治療期から臨死期のどの時期であってもがんの症状緩和を含む全人的ケアが行われ、生活の延長線上にある自然な死を迎えることができる支援を行っていきたいと思います。

最後に地域のステーションと共に地域看護システムに取り組み、がんと共に生きる人とその家族に対する在宅緩和ケア体制の充実にスタッフ一同努力していきたいと思いますので宜しくお願いいたします。

2013年度医療団標語聖句 (箴言16章9節より)

人間の心は自分の道を計画する。主が一步一步を備えてくださる。

News

訪問看護ステーション再開のお知らせ

4月より、新たに“バプテスト緩和ケア訪問看護ステーション”が北白川別当町3-7（北白川別当町下る東側）に移動し、より一層のケアに努めてまいります。



Relay Column

バプテスト リレーコラム

vol.18

消化器センター開設のお知らせ

消化器センター長（就任予定）

かぶらぎ あつし
鏑木 淳志



2014年4月より消化器センターを開設いたします。当院に来られる消化器疾患の患者さんは年々増加しており、内視鏡検査は6年間でほぼ倍増し、手術件数も増加しております。

現在、消化器内科医6名、消化器外科医3名で診療に当たり、内科は上下消化管内視鏡検査、ESD、ERCPなどの内視鏡治療、PTCD、腹部血管造影など幅広い医療を、外科では胆石症、胆嚢炎、虫垂炎等良性疾患のみならず、胃癌、大腸癌、肝臓癌等にも単孔式手術を含めた腹腔鏡下手術を積極的に導入し、低侵襲で質の高い治療を提供しております。常勤の放射線科医、麻酔科医に加え、2013年9月より病理診断医も着任し、より精度の高い診療を行う陣容が整いつつあります。

センター設立に伴い、受付窓口を一本化し、消化器内科外科外来をセンター外来として一体化します。

定期的に合同カンファレンスを開催し、消化器診療にあたる一つのチームとして患者さん中心の医療を目指しますのでよろしくお願い致します。

ボランティアさんからのメッセージ

ホスピスの中での傾聴ボランティア

やすい きよし
安井 潔さん



傾聴はC(クライアント)にひたすら寄り添い『受容』『共感』『自己一致』この三つが傾聴の基本です。この傾聴の大前提として、Cとの間に深い信頼関係がなくては聴けません。

特に自己一致は大切です。Cの心に寄り添い、スピリチュアルな魂の揺れに、私の魂を震わせて連動させて聴かせていただきます。『私の生きがいは何だったのか』『何のために生きてきたのか』『何の役にも立たなくなった私』このスピリチュアルな苦しみに寄り添って聴くのです。

関係存在。時間存在。自律存在。このスピリチュアルな苦しみに寄り添って聴いてゆきます。Cは初めて気づきが心の中に生まれ、変容と変革が起こるのです。Cの心の内側に触れて、私の心の奥の魂の部分に震わせて聴くことを心がけると、Cと私の信頼は深まり、Cに生きがいがあったことに気づきます。

Cが今を生活している事が家族にとって大きな生きがいになっていると思います。



健康・栄養

第6回 食こぼれ話

かねこ みどり
管理栄養士 金子 緑



3月は春のスタート月です。山野では苦みを持った山菜があちこちで顔を出してきます。春ならではのこれらの苦みを持つ植物は、寒い冬の間に溜まった私たちの老廃物を外に排泄してくれる働きがあり、さらに、芽を吹く食材には“元気のもと”をいただけます。

また春は雛祭りや花見の季節です。病院でも春の食材を使った行事食やお料理をお出しします。



行事食のメニュー予定

3/3 雛祭り

ちらし寿司（ご飯食の患者様）鯛雑炊（粥食の患者様）菜の花のごま和え、てまり麩のお吸い物、ひな菓子をお出しします。

3/21 春分の日

ぼたもち（病態により出せない方もございます）

Q：春分の日には、“ぼたもち”？ “おはぎ”ではないの？

A：春のお彼岸には、ぼたもちが食べられます。春は“牡丹の花”に由来し、ぼたもち、秋のお彼岸には“萩の花”に由来し、おはぎと同じものですが名前を変えてあります。季節により名前を変えてあるって風流ですね。

その他3月の食材には、たらの芽ぜんまい、たけのこ、うど、みつば、ひじき、鱈、八朔などがあります。是非そういった食材で少しでも“春”を味わってみてください。

聖書の小道

第12回

「イエスの願い」

たらいに水をくんで

弟子たちの足を洗い、

腰にまとった手ぬぐいで

ふき始められた。

ヨハネによる福音書
13章5節

みやがわ ゆみこ

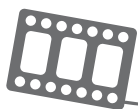
牧師・チャプレン 宮川 裕美子



最後の晩餐の席で、イエスは弟子たちの足を洗われました。自分も同じような姿勢をしてみて、足を洗うためには次の三つの動作が必要だと気づきました。

①座っている相手に近づく。②相手よりも低く小さな姿勢になる。③相手に触れる。そして改めて思いました。イエスは①相手を自分のところに来させるのではなく、自ら相手の立場、思いなどに近づき、②謙虚に出会われ、③ご自身の手を相手のために差し出しておられるのだ、と。

イエスはこう言われています。「あなたがたも互いに足を洗い合わなければならない。」（ヨハネ13章14節）わたしたちの間に「互いに」の思いが増し加わりますように。



歴史 HISTORY バプテストの歩み 第6回

病院本館増改築工事（第1期工事）は、1954年8月31日に起工式を行い、スタートしました。

1955年5月、病院（旧）本館増改築工事が竣工、7月1日には病床数78床で開設の認可がなされ、同月12日に病院開院式が行われました。以来この日を開院記念日としています。

開院式夕刻、熊野清樹初代医療団理事長の口から「今日開院した日本バプテスト病院がその使命を果たせないのなら、名前を“北白川病院”にしないとならないな。」という言葉が飛び出し、同席した者は皆「バプテスト連盟の名前を汚してはならない」と心を締めつけたそうです。

催し物予告

医療団

イースターコンサート

日時：2014年4月23日(水) 15:15~15:40

出演：吉村 美穂 氏(クリスチャンシンガー)

野田 常喜 氏(ピアノ)

会場：バプテスト病院3階チャペル

※都合により、変更・中止の場合があります。ご了承ください。

お知らせ

眼科クリニック

屈折矯正手術(LASIK)説明会

メガネ、コンタクトにかわる屈折矯正手術について詳しくご説明いたします。

開催日時、場所については下記にお問い合わせください。

TEL 075-721-3800 (受付時間 9:00~11:00, 13:00~17:00)

URL <http://www.eye-clinic.gr.jp/>

※ホームページからもお申し込みいただけます。

献金・献品 感謝ご報告 (2013.11.1~12.31) 敬称略

青山 和	里村 百々代	花倉 嘉子
長尾 恭子	吉村 洋子	南千里バプテスト教会
小澤 満	河合 祥世	岩西 敬一
同志社女子中学校・高等学校		中瀬 かほり

イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

郵便振替

記号番号 00960-4-282133

加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課

電話 (075) 702-5926

催し物報告

医療団

クリスマスコンサート

12月21日(土)の午後、今年も京都シティーフィル合唱団(約60名)をお迎えしてクリスマスの歌を聴き、皆さんとその喜びを分かち合いました。参加者より「美しい歌声に癒されました」「また来年も聴きたいです」などの声をいただきました。またコンサート後には、老人保健施設玄関前と病院玄関前で合唱団の皆さんによるクリスマスの賛美がありました。

参加者67名



お知らせ

医療団

ボランティア募集

当医療団ではボランティアを募集しております。あなたも、患者さんのためにボランティア活動をしてみませんか。

募集しているボランティア活動

院内案内・受診付添・小児科外来・・・午前
病棟お手伝い・ピアノ調律・メイク
模擬患者(学校)、配茶・食後の片付け等(老人保健施設)
礼拝誘導(火・金 12:45~13:45のみ)

学生さんの長期休暇中のお手伝いも歓迎いたします。
時間・曜日・回数等については下記にご相談ください。

編集後記

トップコラムで紹介させて頂きましたが、休止していましたが「訪問看護ステーション」が、昨年10月より新たに「バプテスト緩和ケア訪問看護ステーション」として再開致しました。
今までは少し違った形で訪問看護を行ってまいりますので、何かご不明な点など御座いましたら、いつでもお気軽にご相談下さい。(^-^)

日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだど、こころと、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.122 2014年3月発行

発行/一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人/代表理事 山岡義生 編集/日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。

著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <http://www.jbh.or.jp/>

バプテスト老人保健施設 <http://www.jbh.or.jp/roken/>

バプテスト眼科クリニック <http://www.eye-clinic.gr.jp/>

バプテスト緩和ケア訪問看護ステーション <http://www.jbh.or.jp/sisetsu/houmonkango.html>

バプテスト在宅ホスピス緩和ケアクリニック <http://www.jbh.or.jp/bhh/>

日本バプテスト看護専門学校 <http://www.jbsn-kyoto.com/>